地域全体で支える「千屋牛」ブランド発展における家保の取組：岡山県高梁家保　入江結唯

当家保管内である新見市では、生産した黒毛和牛を「千屋牛」としてブランド化し、平成19年には地域団体商標を取得。年間約700頭を出荷する地域の基幹産業かつ地域活性化資源として重要。農業協同組合、県民局、市等により組織された千屋牛振興会は、増頭に向けた生産技術の研鑽、スタンプラリーやグッズ配布等を通したPR活動、地元農業高校生が先進地視察を行う後継者支援などを実施することで、地域全体で振興を図っている。当家保でも肉用牛増頭対策を主要施策として位置付け、年間約60頭の肥育素牛を生産する農協直営の繁殖育成農場への技術指導に参加。1日平均増体量（DG）は改善傾向で死廃率も低い状態を維持。当該農場は近年、地域血統の保全や改良にも注力し、県共進会においても上位入賞を果たすなど、地域を牽引するモデル農場であり、当家保としても千屋牛の更なる発展を目指し下支えを行う。